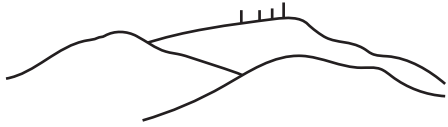


Youth Manna

2020/2/17 - 2/23



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2020/2/17(月)

レビ 18 章

神様は、以前住んでいたエジプトと、これから入る約束の地であるカナンの地の風習をまねてはいけないと言いました。特にカナンの地は、偶像礼拝によって性的にとてつと墮落していたので、神様が何を忌み嫌われるのかをはっきりと語られました。

僕らの時代はどうだろう？似ているところはあるかな？イスラエルの民は、これから出会う他の民とは違う、聖なる民として生きることを決断する必要があります。あなたは周りの人と違うことを恐いと思うかな？その違いを恐れずにしっかりみことばに立とう！レビ 11:44,45(1ペテ 1:15,16)を心に刻んで出て行こう！

2020/2/18(火)

レビ 19:1-18

2節はレビ記で繰り返し語られる大事なことばだね！聖であるとはどのようなものか、考えながら読んでみよう！

両親への尊敬が最初に語られているね(3)。人生で最初の権威である親を敬うことなくして、天の父である神様を恐れ敬うことは出来ません。安息日を守ること、他の物を神としないこと、正しく献げること、他の人を憐み優しく接すること、...そして17-18節はまとめのことばだね。「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。」これはイエス様も最も大切な戒めとして教えたことばだ。

「聖であること」が、自分の考えていることと今日の箇所とでずれていたことはないかな？みことばに従おう！そして隣人を愛するとはどういうことかを、考えて具体的にやっていこう！！

2020/2/19(水)

レビ 19:19-37

昨日からの続きで、今日も隣人を愛することについての掟が書かれています。

主に感謝をもって献げること、礼拝を献げる態度、主に信頼すること、主を恐れること、主と人に対して誠実、正直であること。私たちは、生活のすべてにおいて、聖なる者となる必要があります。

第一ペテロ 1:13-16 を読んでみよう。今日の一日も主と歩み、聖なる者となることがどういうことなのか、よくわかるように助けてください。

2020/2/20(木)

レビ 20 章

今日の箇所は、2-6節は偶像に関する罪、9-21節は家族に対する罪の問題が扱われている。18, 19章の繰り返しでありながら、罰則が加えられているのが特徴で、それだけ神の律法に生きることが徹底されていたということがわかる。

神の掟と定めは私たちがキリスト者として歩むべき方向性を示している。そして違反の可能性を持つ者へ警告を与えている。さらに神はただ単に、掟と定めを与える方ではなく、それらに沿って生きることができるよう、力を与えられる方である。

違反(罪)に気づかずに裁きと滅びに向かっている人の中に、あなたが福音を伝えるべき人はいないだろうか。友達、家族の救いのために祈ろう！

明日は猫の日

2020/2/21(金)

レビ 21 章

21章と22章は祭司についての規定が書かれています。祭司には他の民の模範となるため、よりも高い基準が求められました。その理由は、祭司は神様との特別な関係 - 地上の最も素晴らしい関係 - にあったからです。だから、地上の愛する友人や親族を失ったとき嘆くことは禁止されませんでした。全てを失ったかのように嘆くことは禁止されました。

1/26の礼拝ではクリスチャンは全て祭司だと語られたね(1ペテロ 2:9)。本当に神様に仕えることは、私の罪が赦されて救われたところから始まります。今日、その救われた生き方を家や学校であらわしていくことができますように。

2020/2/22(土)

レビ 22:1-16

今日は祭司がささげられたものをどのように扱うかが書かれているね。まず祭司自身がきよい状態でいえないといけない。そして祭司の家の者でも、きよいものを食べられる人ははっきり決められていたね。

きよいもの、汚れたものをしっかり区別して、どうするのかを明確にすることを祭司はしなくてはいけなかった。だけど、これは祭司だけではなく、普通の民の前で語られたことだったんだ。主の清さ、清さと汚れたものの明らかな違いを人々は恐れをもって知ることになったね。私たちは今、キリストの身体である教会となっていて、イエス様を大祭司にしている。そして私自身も祭司だって聖書は言ってるね。

主の清さをあらわす者として今日も主と歩もう！そのためにできること、やめるべきことは何かな？考えて実践してみよう！

2020/2/23(日)

レビ 22:17-33

神様に受け入れられるささげものは、傷のない完全なものでなければなりません。それは人の都合で定められるものではなく、神様が求めているものです。

私たちが神様にささげる礼拝はどうでしょうか。私たちがしたい礼拝ではなく、神様が求めるささげものとして自分自身をささげることができているでしょうか。

私たちは完全ではありませんが、イエス様によって贖われ、神様の前にでることができます。

ヘブル 9:11-14 を読もう。イエス様は傷のないささげものとしてご自身を神にささげられました。イエス様を通して私を受け入れてくださったことを感謝します。イエス様が私のために流された血を覚えて、自分自身をささげることができますように。